

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書4章9～13節＞

①ついに悪魔も聖書を引用！ 聖書の正しい読み方とは？

イエス様は悪魔の一つ目と二つ目の誘惑を聖書の御言葉によって退けられました。それは、神様の御声に聞き従うことが大事であることを教えられる姿でした。しかし、三つ目の誘惑では、なんと悪魔も聖書の御言葉を引用して来たのです、それも二つも！ このことから、ただ聖書の御言葉を用いさえすればいいのではないことが分かります。聖書読みの聖書知らず、それは聖書を読んでいるようで、結局、自分に都合のいい言葉を拾い出している読み方をしている姿を指します。そうではない読み方をする、否、むしろ、私たちが無心になり御言葉に耳を傾けて聞かなければならないのです。そうするために神様が用意して下さったのが教会であり、そこで行われる礼拝なのです。

②悪魔の誘惑は巧妙。 神様への信頼を示させるような手口を使う！

では、悪魔の聖書引用のどこが問題だったのでしょうか？ 悪魔が引用した二つの聖句はどちらも「神様が守って下さる」ということを教えており、それ自体は問題ありません。しかし、もしイエス様が悪魔の言う通り飛び降りていたら、第一の誘惑同様、悪魔はほくそ笑んでいたことでしょう、「それ見ろ、俺に従った」と。悪魔の誘惑は巧妙です。神様に逆らわせようとするのではなく、むしろ、神様を信じていることを示させようとするのですから！ しかし、イエス様は、『あなたの神である主を試してはならない』（申命記 6:16）と言われている（12）という聖句で返されたのです。なるほど、本当に神様を信じている者が引用して来る聖句はこちらだな、と思わされます。

③悪魔が誘惑して来る？ 私たちの神様への信頼が試されているだけ！

「誘惑する」と訳されて来たギリシア語（ペイラゾー）がここでは「試す」と訳されています。誘惑と考えると「誘惑する悪魔が悪い」と考えたくなりますが、そうではなく、私たち自身の、神様への信頼が試されているのです！ 「主を試さない」とイエス様が答えたら、悪魔は離れて行ったのです！ イエス様は、石をパンに変えたり、高い所から飛び降りたりするのではなく、何があってもただ静かに神様を信頼し通されました。私たちも派手なパフォーマンスを示す必要はありません。御言葉に真摯に聞き、主を信頼して生きて行くことが大事なのです！